

ボン大学出張報告書

M2 若林慧

この度、当研究室はボン大学 Michael Hoch 教授の研究室と、ショウジョウバエを用いた生体中のエネルギー代謝に関する共同研究を、先進理工学研究科リーディング理工学博士プログラムの教育研究として立ち上げることとなった。両研究室から共同研究に参画する許可を頂き、さる 2 月 12 日から 3 月 1 日までの 3 週間弱、私はボン大学の研究施設 LIMES に滞在し、研究活動を行った。

今回の滞在目的は、「今後の研究で使用する抗体と新規技術の設計」と「当研究室でショウジョウバエのプロジェクトを立ち上げるための基礎知識習得」であった。滞りを経て、ショウジョウバエの基本、管理法、遺伝学技術等を一通り学んだ。滞り前にも自分なりに論文を読んで勉強したつもりであったが、どうしても理解の深まりに限界があった。渡独前につまずいた点をスーパーバイザーが分かりやすく、かつ詳細に解説してくれた。Hoch 教授も三日に一回のペースで進捗状況をディスカッションする時間をとってくださり、熱心に指導をして頂いた。今回の滞りを通じて、今後行う研究のベースとなる基礎知識は高めることが出来たと思う。

今回の渡独に関してもご指導くださった朝日透教授と澤村直哉准教授には心より感謝申し上げます。支援をして下さったリーディング理工学博士プログラム事務局の皆さまにも深く感謝する。また、共同研究に参画することを快諾して下さるに留まらず、宿泊先の手配、研究に関する熱心な指導をして下さった Michael Hoch 教授、スーパーバイザーとして様々な助言をくださった Ms. Ines Hahn、そして、現地での研究室生活を通じて色々とお気にかけてくださった田中英臣先生、モリテツシ先生、鈴木明香さんらにも深く御礼申し上げます。



写真 1 LIMES の外観

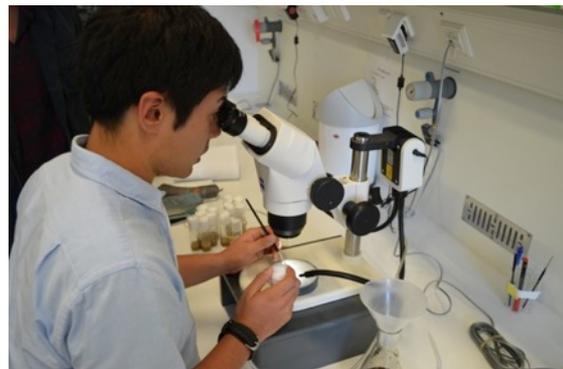


写真 2 ショウジョウバエの観察をする筆者